

岐阜県の プラスチック

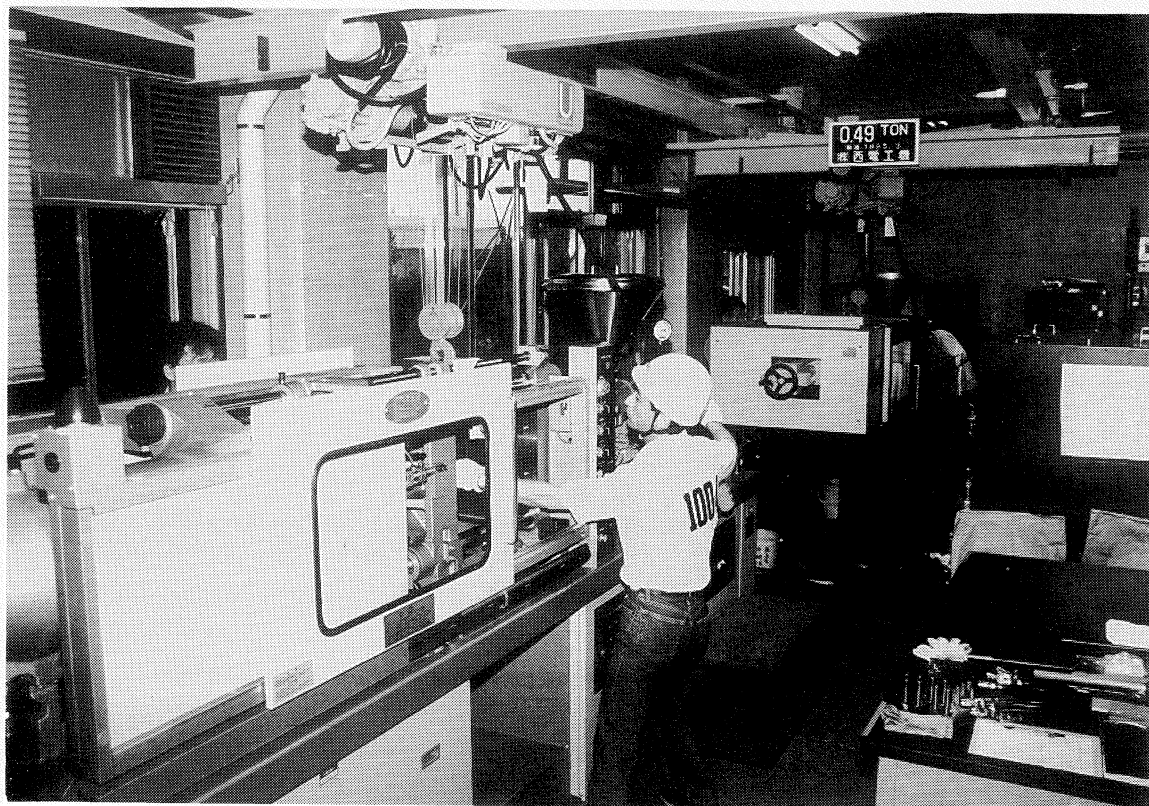
欧州産業視察の日程決まる。視察団員を募集中
新装の検定会場で技能検定を実施。1、2級で79人参加
ブロー成形作業も技能検定職種に
岐阜市で中部ブロック職業能力開発促進大会開く
包装ごみのリサイクル法が成立。施行は2年後

デザインの心

組合員の工場訪問

事務局だより

工業技術センターにある検定会場で実技の技能検定を受ける受検者



欧州産業視察の団員募集を開始

世界最大の「K」などを視察

10月5日から10日間で2カ国

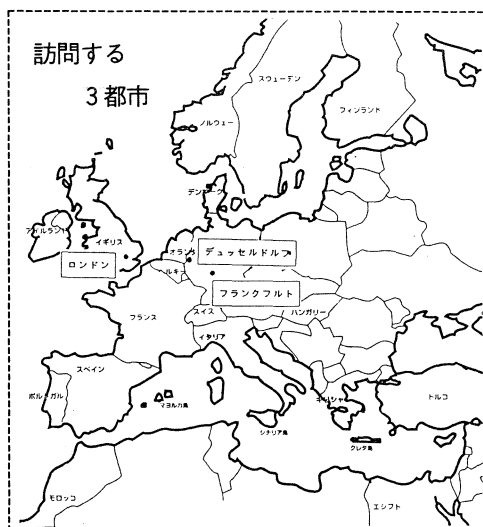
岐阜県プラスチック工業組合は先の総会で、今年度事業として『欧州産業視察団』の派遣を決めたが、このほど団員募集を開始した。派遣計画によると、10月5日から8泊10日間にわたり、ドイツのデュッセルドルフ→フランクフルト→さらにイギリスのロンドンを経て帰国する。募集団員は15人以上、費用は1人約60万5千円を予定している。とくにデュッセルドルフでは、世界最大のプラスチック関連見本市『K'95国際プラスチック・ゴム専門見本市』を専門通訳同行のもとに3日間視察するほか、関連団体や大学、企業訪問を組み込んでいる。工業組合では「プラスチック産業人として魅力ある視察コースになっており、また、円高メリットを享受して一人でも多くの参加を…」と呼びかけていく。

渡欧費用は一人60万5千円を予定

この欧州産業視察を企画したのは工業組合理事会と野村ツーリストビューロー名古屋支店で、今春いらい野村ツーリストビューロー名古屋支店が現地と折衝を行い、このほど最終的にまとめ、募集を開始したものである。

視察コンセプトは①『K'95国際プラスチック・ゴム専門見本市』は、専門通訳同行のもと班別にテーマをしぼって視察する。②欧州のプラスチック成形企業と関連産業の現状を把握するため、野村総研担当者から現地の事情についてレクチャーを受けながらフランクフルトにあるプラスチック関係団体、機関、企業を訪問し関係者と懇談、また施設を見学する③さらにロンドンでもプラスチック関連企業を訪問する④視察や懇談内容、又、参加者の意見・感想をまとめ、帰国後、組合員に報告する一など見本市視察を機会に世界の技術とマーケットを探るのがねらいである。

工業組合では、このほど視察団募集要項をま



とめ全組合員へ送付したところで、旅行費用は60万5千円（費用は会社の経費として認められる）募集する視察団員は15人以上、旅行会社への申し込み締切日は8月4日、実際には事前準備が必要なため7月20日までに組合へ申し込むこと。

視察団編成を前に大松理事長は「プラスチック産業における世界の技術・マーケットを知る

ために極めて有意義な研修視察といえます。景気好転の兆しのない経営環境が続く最中ですが、この機会に海外の動向を知り、企業はもとより業界の発展に役立ててもらいたい」と自ら参加を決め、組合員に視察参加を呼びかけている。

ジャパンプラ の4倍の規模

渡欧の主目的である『K'95国際プラスチック・ゴム専門見本市』は、3年ごとにデュッセルドルフの見本市会場で開かれる世界最大の規模、最高の内容を誇るプラスチックとゴムの専門見本市。

出展企業数は前回92年で2,210社だったというから、東京と大阪で交互に開かれたジャパン・プラの実に4倍もの出展規模。

展示の内容は機械、付属機器、工具、原材料製品の展示はもちろん、開発の成果や技術の紹介に力が入っている。したがってビジターはプラスチック関係者というより、自動車産業から包装、電気・電子、航空産業などとプラスチックやゴム業界と強いつながりのある業種の人たちが各国から商談・視察に訪れる。前回の入場者は28万5,854人にもものぼり、今回は世界全般に景気回復してきたのを背景に大盛況が予想される。

工業組合の欧州視察日程表

| | |
|-----------|---|
| 10月5日(木) | 名古屋空港発→イギリス・ロンドン経由→ドイツ・デュッセルドルフへ (宿泊・ケルン) |
| 6日(金) | デュッセルドルフ見本市会場→班ごとに専門通訳と「K'95プラスチック・ゴム専門見本市」を視察 (宿泊・ケルン) |
| 7日(土) | 終日、班ごとに専門通訳と「K'95」を視察 (宿泊・ケルン) |
| 8日(日) | 午前中は班ごとに専門通訳と「K'95」を視察→午後はフランクフルトへ向かい→温泉保養地ウイスバーデンへ (宿泊・ウイスバーデン) |
| 9日(月) | 午前中はフランクフルトに滞在し、ドイツ産業についてレクチャー→午後は専用バスでプラスチック団体や工科大学を訪問 (宿泊・フランクフルト) |
| 10日(火) | フランクフルトに滞在し、終日、プラスチック関連企業を訪問 (宿泊・フランクフルト) |
| 11日(水) | 午前中はフランクフルトに滞在→午後は空路ロンドンへ (宿泊・ロンドン) |
| 12日(木) | 終日、ロンドンに滞在し、現地のプラスチック関連企業を訪問 (宿泊・ロンドン) |
| 13日(金) | 午前中はロンドンに滞在し自由行動、午後はロンドン空港から帰国 (機中泊) |
| 10月14日(土) | 午前中に名古屋空港着(名古屋～ロンドン間は英国航空を利用) |

新事業振興で貸付制度

「— 商工中金が取り扱いを開始 —」

商工中金は、中小企業の企業家精神をバックアップし、経済活性化を図ることを目的に『新事業振興貸付制度』を創設、取り扱いを開始した。対象は事業に新規性が認められる中堅・中小企業で商工中金所属組合とその組合員企業。資金用途は新事業を行うために必要な設備・運転資金で、限度額はとくに定めてない。貸付期間は設備資金15年以内、運転資金は10年以内。利息はプライムレート+ α で、5年ごとの見直し。原則として担保・保証人が必要である。

新装なった検定会場で技能検定

「ハイテク時代」一、二級で79人が参加

工業組合は岐阜県職業能力開発協会からの受託企業として、7月3日から7月28日までの20日間、岐阜県工業技術センターで『平成7年度・プラスチック射出成形技能検定』を実施した。これに先立ち7月28日から3日間、受検者を対象に『特別講習会』を行い、基本からみっちり勉強、技能や知識のレベルアップを図り、検定試験に備えた。

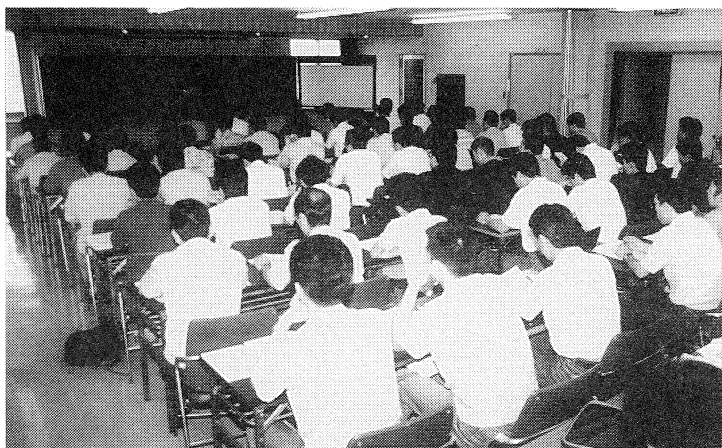
とくに検定会場は昨年『射出成形機の更新と圧力アップ』を行ったことに続いて、今年度は『金型移動用クレーンと照明設備』を新設、会場は面目一新しており、円滑な検定業務と合格率のアップが期待される。

検定に先立って 特別講習会開く

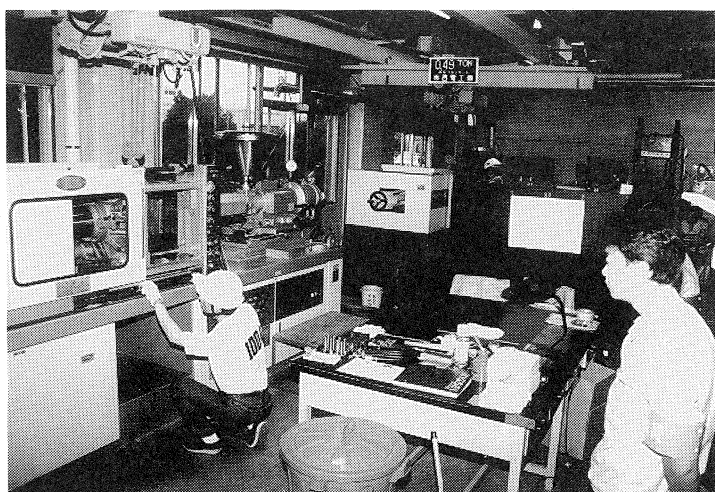
今年度のプラスチック射出成形の受検者は、実技、学科ともで1級が10人、2級は69人の合計79人。検定事業始まってからの大量受検となり、ハイテク時代にふさわしい技能検定となった。

技能検定に先立って開催した特別講習会は、7月28日から3日間、実技検定会場と同じ県工業技術センターの3階講堂と成形機のある機械室で行った。

特別講習会の開講式では大松利幸理事長がかけつけ「技能検定受検者が年々増えていることは、県内技術レベルの高さを表わし、喜ばしい。皆さん方の若い技術者で、技術革新時代を支えてもらいたい」と激励し



技能検定事業始まってからの大量受検。会場は大盛況



新装なった技能検定会場で実技の検定を受ける受検者

た。また、昨年までの西川首席検定委員に代わって就任した中川徹首席検定委員は「技能・技術を修得する前に何よりも大切なのは、まず、基本を身に付けることといえる」と、基礎知識の大切さを強調した。

検定時間をフルに活用し取り組む

特別講習は①技能検定の受検対策と傾向②成形材料と射出成形条件③射出成形機の取り扱いなど講義と実習を繰り返し、同時に模擬試験を行い、合格率向上をめざした。

大量受検となった実技の技能検定は、例年よ

り長期にわたる20日間も行われた。2級は7月3日からウイークデーの18日間、1級は7月27日から2日間で、いずれも午前、午後に別れて2人ずつが行った。検定はたんなる成形作業だけではなく、運転前の点検、金型の取り付け、型締力の調整、リミットスイッチの調整など、成形作業の事前・事後までも採点の対象になるとあって、受検者は緊張の連続であった。

なお、学科試験は8月27日（日）岐阜大学で全国統一のもとに行われる。合格者発表は10月5日（木）の岐阜県公報に掲載され、岐阜県・岐阜県職業能力開発協会から通知される。

ブロー成形作業も技能検定職種に

職業能力開発促進大会で労働省の担当者が公表

【第15回中部ブロック職業能力開発促進大会】が6月15日、岐阜市内の未来会館で開かれ、技能検定など職業能力開発の促進をテーマに研究討議した。

大会には静岡を含む中部7県の職業能力開発に関する組合、企業の担当者ら500人が参加したもので、全体会議、記念講演に続いて①

職業訓練②技能検定③企業内訓練—の3分科会に分かれ、職業訓練や技能検定についての事例発表や問題点を提起、討議を重ねた。

技能検定を実施する当プラスチック工業組合は第2分科会に参加、とくに竹内安之事務局長が『技能士（確かなプロのあかし）の誕生をめざして』をテーマに、技能検定の成果と考察を発表した。（内容は6～7頁に紹介）



中部7県下の職業能力開発担当者500人が集まって開いた大会

なお、労働省の担当部局を代表して小木曾康浩・職業能力開発課課長補佐は全体会議、分科会の中で「技能検定が職業能力の開発に大きな役割を果たすことができたのは、検定事業を受託実施する各組合と関係者の努力と協力によるものである。また、プラスチック関係では現行の射出成形と金型製作に加え、新年度からブロー成形作業を追加して実施したい」と語った。

職業能力大会で竹内局長が意見発表

「検定合格はプロのあかし」 技能検定の成果と考察を発表

職業能力開発を一層促進しようと『第15回中部ブロック職業能力開発促進大会』（大会記事は5頁に紹介）が開かれ、その大会分科会で岐阜県プラスチック工業組合の竹内安之事務局長が意見発表を行った。テーマは『技能士（確かなプロのあかし）の誕生をめざして』で、工業組合が長年、受託事業として取り組んできた技能検定事業の成果と考察に、エピソードを加えながら発表した。次は竹内事務局長の発言要旨。

好調に発展したが小規模が多い

<岐阜県のプラスチック加工業の概要>プラスチック産業は二次大戦後に生まれた産業だが、岐阜県に産業として根付いたのは、自動車産業をはじめとする中京の商工業を背景に急速な発展を遂げたといえる。今日では繊維アパレル、陶磁器、金属、木工、食品、紙の主産業にプラスチック加工が加わり、岐阜県七大産業の一角を担っている。

平成5年の工業統計によると、経済環境の悪化から前年を下回ったものの企業数は880働く従業員は1万2,443人、その年間出荷額は3,050億円で、好調な業界の発展ぶりを見せている。

<技能検定への工業組合の取り組み>こうした規模へ成長した岐阜県プラスチック産業ではあるが、個人企業が全体の半数を越える474企業もある。また、従業員1～9人の小規模が605社、実に全体の4分の3を占めている。

圧倒的な小規模企業、それに下請企業が大半を占めることから工業組合への加入率は低

い。しかも、足踏み状態が続くこの不況の中では「組合加入メリットが無い」として、なかなか組合へ加入してくれない。

あい路を抱えてきた工業組合は、組合事業の活性化と業界の技術レベル向上対策の一環として、県職業能力開発協会からの受託事業である『技能検定』に重点を置いた。

合格率の低さは基礎・基本の不足

<最近の受検申請と合格状況>工業組合が受託実施する技能検定試験は、昭和49年度から『プラスチック成形射出成形作業』昭和63年度から『プラスチック用金型製作作業』さらに平成元年度からは『特級・プラスチック成形』を加えて行ってきた。

ところが毎年、受検者数も合格率も、静岡を含む東海4県下の実績に比べてパッとしない。しかも、平成4年度の2級技能士合格率は17.0%で、全国最低を記録した。また、5年度の1級技能士はゼロという無惨な成績が続いた。

工業組合と検定委員会は、将来への危機感を持ち「他県の好成績の理由」「受検者を抱



分科会で技能検定事業の成果を発表する竹内事務局長

える企業内研修の実情」「受検者の技能レベルの実態」などを調べ、検討した結果「基礎知識、基本技術の不足が主原因」とわかり、研修事業に力を入れて行くことにした。

模擬試験を行い個別にチェック

＜技能検定のための特別研修事業＞検定合格率の向上をめざした3日間研修は、平成5年度から開始した。実際には国・県の補助事業に指定してもらい『プラスチック成形技能士への挑戦』をテーマに、3日間にわたって行った。受検者が参加する事前研修は、従来は成形機の取り扱いと2機ある検定機種種の抽選が目的だった。

特別研修の内容は、実技では成形機を操作する実習に重点を置き、これを学科と連動させて研修を繰り返した。組合が研修会方式に加えて行った新しい方法は、学科の模擬試験問題を作成して受検者に配布し、講師が解答状況をチェックしながら個別に指摘、指導した。この模擬試験は単純に採点するだけではなく、要注意箇所を指摘し、フィードバックしてやることによって、研修効果を高め、同

時に受検者のレベルアップをねらった。

＜実技試験会場の整備と検定合格者への対応＞続いて力を入れたのは、検定会場の施設と環境の整備。検定の円滑な実施、受検者の安全と実力発揮に欠かせないからだ。

まず、検定会場のある県工業技術センターに成形機

の更新をしてもらい、新機種ばかりとした。さらに検定事業の受託先である県職業能力開発協会には、検定会場の狭隘と照明不足を改善するために、金型移動クレーンと新しい照明設備を設置してもらい、検定会場は面目を一新した。

新年互礼会に招いて合格を祝う

＜平成6年度の実技試験を顧みて＞合格率最悪の状態にあった技能検定は、研修内容の充実や施設整備が進むにしたがい好転しはじめた。平成6年度は、1級が18人申請して2人合格、2級は67人申請して24人合格した。合格者への伝達は、これまで理事会の席上で行ってきたが、昨年からは全組合員が参加する新年互礼会に招いている。理事長が一人一人に合格証や合格章を伝達したあと、懇親パーティーに参加してもらうなど、技術向上への努力をねぎらっている。

合格率が上昇してきたといっても全国平均には及ばないが、平成6年度は岐阜県としては過去にはなかった上々の成績で、今年度は大いに期待されるところである。

包装ごみリサイクル法が成立

97年に施行、小規模事業者は適用除外に

プラスチック業界が注目していた『容器包装に係わる分別収集・再商品化促進法』が6月9日の参議院本会議で可決され、成立した。プラスチック製容器やびん、缶、紙などの容器包装ごみを引き取り、リサイクル義務を企業に負わす法律。その詳細は会報121号、123号で紹介したとおりである。

法律の目的は、リサイクルによって増え続けるごみを減らすため、容器包装に使われたごみを分別収集し、再商品化を図る点にある。その図式は、プラスチック、びん、缶、紙などの容器包装ごみを分別排出し→市町村が分別収集を責任もって行い→事業者がこれを引き取り責任をもってリサイクルする、というもの。

リサイクル義務を負う事業者は、販売する商品に特定容器を用いる事業者、特定容器等を製造する事業者。百貨店やスーパーなどの販売時に特定の包装を用いる事業者。ただし、製造業

の場合で従業員20人以下、小売業の場合は5人以下など要件を満たす小規模事業者は適用除外され、中小企業は3年間、義務が猶予される。

実際にはリサイクル義務を負う事業者が最初の費用を負担し、公益法人をつくって処理するか、リサイクル業者に委託することになる。

今年末までには公布され、2年以内に施行されるが、プラスチックの再商品化は技術が完成していないため、最長5年間延長される。

企業の負担は全国で約1千億円に

厚生省では、制度が軌道に乗った段階での企業負担は全国で約1千億円と試算している。法律ではこのコストを製品価格への転化を容認、最終的には消費者の負担を認めている。

通産省では、排出するごみは全体の30%程度を占めると見て、施行5年後にはその30%ぐらい回収、再商品化へ持ち込みたいとしている。

創造的事業に支援措置

「臨時措置法が施行される」

『中小企業の創造的事業活動の促進に関する臨時措置法』が、4月14日に施行された。この法律は産業の空洞化や国内産業の成熟化といった経済環境を打開していくため、中小企業による新製品・サービス等の開発など創造的事業活動の促進によって、新たな事業分野の開拓を図ろうとするものである。通産局・県では近く中小企業団体や中小企業者を対象に説明会の開催を予定している。

支援制度の概要は、創業に対する支援と研究

開発やその事業化に積極的に取り組む中小企業者に対する支援がある。

創業支援は、事業開始後5年未満の製造業等の中小企業者に対し設備投資減税（7%の税額控除または30%の特別控除）や中小企業投資育成株式会社法の特例を講じていく。

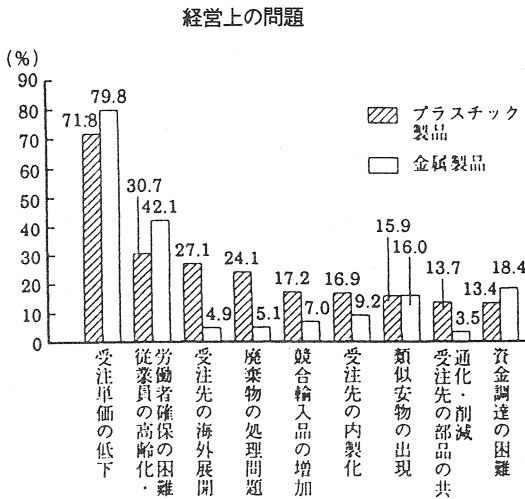
研究開発や事業化への支援は、創業的事業活動を促進する観点から、研究開発やその事業化に積極的に取り組んでいる中小企業者に対し、設備投資減税や投資育成の特例を受けられるようにする。また、中小企業信用保険法の特例、中小企業近代化資金等助成法の特例、課税の特例等の支援が受けられる。

景気足踏みデフレの影

「企画庁調査・年率0.3%の低成長」

経済企画庁が発表した国民所得統計速報によると、今年1～3月の国内総生産（GDP、季節調整済み）は物価変動の影響を除いた実質で前期に比べて0.1%増、年率換算では0.3%増の低成長となった。この結果、94年度の名目成長率は0.3%、実質成長率0.6%を下回った。

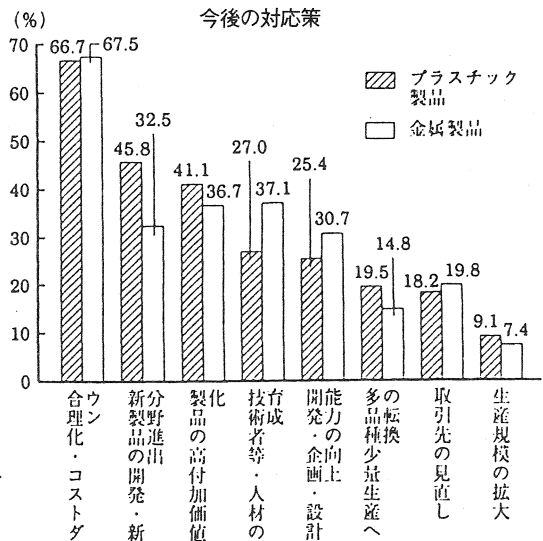
景気回復力が極めて弱いことを裏付けたわけで、総合的な物価指標といえるGDPデフレーターのマイナス幅が広まり、デフレの色彩が濃くなった。頼みの公共投資は地方財政の悪化も



あって大幅に減少している。このままでは個人消費だけではなく、底離れの兆しが見える設備投資も再び落ち込みかねないという。デフレ傾向に照準を合わせた経済政策が急がれる。

白書に示された経営上の問題点

下の二つのグラフは『95年版中小企業白書』に示された全国のプラスチック製品と金属製品製造業者を対象に調査した結果で、プラスチック業界の経営上の問題や対応策がうかがえる。



資料：中小企業庁「プラスチック製品・金属製品製造業実態調査」6年12月
 (注) 複数回答のため合計は100を超える。

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX®

PBT樹脂

NOVADUR

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン **NOVATEC**

高圧ポリエチレン

NOVATEC-L



三菱化成株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
 電話 03(283)6320(大代表) (〒100)

デザインの心ー2

『原点のニーズ』

岐阜県プラスチックデザイン協会

■ここ2年間ほど、化粧品業界は口紅の“落ちない・色移りしない”競争が熾烈です。各社が持てる技術を駆使して、こぞって色落ちしない口紅を開発しています。

□このコラムの読者はおじさまが多いと思いますので少し補足しますと、口紅は女性にとって大変重要なアイテムです。ファンデーションは塗らないけど口紅は必ずつける、というひとも多いはず。また口紅は、その“カラー”が重要なポイントで、色を変えるだけで顔の印象がずいぶんと違って見えます。口紅をつけていないと人からは『顔色悪いね』といわれてしまい、いつのまにか女性は、口紅つきの顔がオフィシャルな顔になっています。

□さて、2年程前までは口紅業界では“カラー”が主流でした。今度の春の新色はローズ系です、というように色で差別化していました。しかし近年、“落ちない”という新しい『機能』が附加されて、爆発的なヒット商品となりました。この“落ちない”ということは女性にとってはとてもありがたい機能であることは、その高い販売数を見れば一目瞭然です。まず、食事の後の化粧直しがいらぬ、着替えや満員電車の中でも口紅がつくのが気にいらぬ、ハンバーガーも気軽に食べられる(!?) などなどいいことづくめなわけです。

□しかし、この“落ちない”という口紅の機能は、一見消費者の新しいニーズのように思われがちですが、実は『やっと出たか』という感じの機能なのです。つまり、消費者（この場合は



女性)はずっと『落ちない口紅があったらいいなー』と思い続けてきた、いわば『原点のニーズ』なのです。化粧品(口紅)を使う=美しくなりたい=(究極は)そのまま美しい顔でいたい、という基本的な欲求の図式に立ち返った結果の勝利といえましょう。現に10年程前にやはり“落ちない口紅”が一世を風靡したことがありましたが、このときは唇が荒れたり乾燥したりとリスクが大きく、結局一過性のブームに終わりました。今回の“落ちない口紅”は『落ちない』+『荒れない』で女性のニーズを十分に満たしたようです。

■これだけ色々なモノや機能があふれかえっている私たちの身の回りにも、案外、原点にかえってみると見えてくるものがあります。そこをうまくつつけば、以外にヒット商品も可能なのではないでしょうか。

岐阜県工業技術センター (寿)

機器新設、コストプッシュへ挑戦

有名一工業製作所

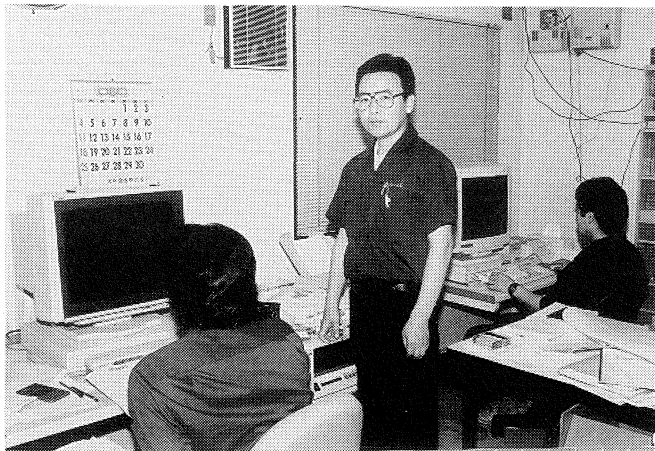
今回の工場訪問は、創業社長の死去により世代交代した有名一工業製作所（本社岐阜市長城西町1-13、市原登志徳社長、資本金600万円、従業員17人）を訪ねた。先代社長は市原利夫さん。金型メーカーでありながら、プラスチック協会時代から工業組合の組合員として、プラスチック業界との交流を深め、金型製作をとおし業界発展に貢献してきた人である。

その市原さんが昨年8月に亡くなられ、専務だった息子の登志徳さん（昭和31年生まれ）が経営を受け継ぎ、やがて1年になる。

二代目は、うまくいって当たり前

工場のある関市山田新大栗に新社長を訪ねると「正直にいうと、親父がやっていた経営方針や対外的なことはさっぱり判らず、参りましたよ。工場内のことはすべて任されていたのですが…」と1年前を振り返りながら話す。

「二代目はうまくいって当たり前、といわれ



コンピュータールームで今後の経営について話す市原新社長

ますからね。まず、父と一緒にやってきてくれた年長の3人、同年や年若の従業員一人一人にも経営を受け継ぐ心境を話し、協力を求めた。この長引く平成不況から金型業界は3割の企業が転・廃業。残る企業も受注減で稼働率が半減している実情を話し、経営への理解を求めた」という。この時、胸にジーンときたことは人間関係の大切さで「親父はよい取引先とよい従業員を残してくれた」と先代の徳に感謝する。

金型生産はCAD・CAM方式で

長引く不況、新社長として実行したことは何ごとにも前向きに進むこと。これまでの金型加工機械に加え【グラフィット加工機】と【CAMツール】を導入した。金型業界は日進月歩、コンピュータと数値制御の工作機械を光ファイバーで結んで行うCAD・CAM生産方式を、各社が競って採用しているからだ。

名一工業では、名の通り一早くCAD・CAM生産方式を取り入れ、岐阜市から関市へ工場を移転、充実してきたが、今回行った設備投資

で一層強化され、中小企業ながら大企業に立ち迎える金型生産施設になったという。

過当競争の渦巻く中で生き残るには、品質を保ち、納期短縮を図ること。しかも厳しいコスト低下の要請に答えていくことが課題。市原新社長は「リストラが叫ばれているのに、あえて設備投資を行い、コンピュータ要員を増やしたのは、その課題に対する答です」と言い切る。

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□中小企業PL保険制度と案内□

組合員各位に『中小企業PL保険制度』のご案内をいたしました。7月1日に製造物責任法（PL法）が施行されました。各企業におかれても対応策をとられているとは思いますが、万一のアクシデントに備え『中小企業PL保険制度』の導入を検討してみてください。

ご紹介しました制度は、中小企業庁の指導のもとに全国中小企業団体中央会、全国商工会連合会、日本商工会議所の商工3団体が『中小企業製造物責任制度対策協議会』を組織して開発した商品です。5月総会の記念講演でも伊沢日本プラ工連専務理事が「現在ではもっとも有望な共同保険」と推奨しておられました。

PL保険加入を必要とされる企業は組合事務局へご連絡ください。組合が指定する保険会社へ連絡、担当者に説明にいられます。

□日本の景気は三番底…海外でも懸念□

9頁の記事で紹介しましたが経済企画庁は「景気は足踏み状態、デフレの影がしのびよってきた」と経済の低成長ぶりを発表、業界の先行き不安は募るばかりです。

そんな日本経済の先行きを懸念するのは国内

ばかりではありません。外電の伝えるところによりますと、米政府内でも強い関心を寄せ「日本経済は三番底に突入し始めた」と指摘しています。さらに「日本の景気は93年春にいったん底入れする兆しを見せながら、再びずるずると悪化。94年初めには二番底を付けており、今回はその二の舞いになる」とし、事実上のゼロ成長に強力な景気刺激対策と規制緩和による市場開放を求めています。

□労働保険の事務委託と更新の事務□

全事業所に適用されている国の労働保険には『雇用保険』と『労災保険』があり、全事業所に適用されております。工業組合ではその事務委託をしておりますので、事務代行を希望される組合員は事務局へご連絡ください。
(お知らせ) 工業組合事務局の夏期休暇は、8月14日(月)から3日間です。よろしく。

岐阜県のプラスチック 1995 124号

平成7年7月10日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号
(岐阜産業会館4階)

電話 (058) 272-7173

FAX (058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 竹内安之

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタクリルシート

スミベックス®

メタクリル樹脂

スミベックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE

合成ゴムSBR

住友SBR

合成ゴムEPR

エスブレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571

暑中お見舞申し上げます
1995 盛夏

岐阜県プラスチック工業組合



役員一同

リスのステスチック
 **岐阜プラスチック工業株式会社**

取締役社長 大松 利幸

本社 岐阜市神田町9丁目25番地(大岐阜ビル6階)
〒500 ☎ <058> 265-2233(代)
生産本部 各務原市前渡東町4丁目222番地
〒504 ☎ <0583> 86-9311(代)




コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役社長 児玉 俊一

本社及び
本社工場 岐阜県安八郡神戸町末守377の1
電話 <0584> 274 141 番代
郵便番号503-23

ポリエチレンチューブ
農業用ポリエチレンフィルム

 **株式会社 東海ポリエチ工業所**

代表取締役社長 大野 實

本社工場 岐阜県羽島郡岐南町野中 ☎501-61
TEL (0582) 46-1313 番代
FAX (0582) 47-2411 番
名古屋営業所 名古屋市西区城西5丁目5番4号 ☎451
TEL (052) 521-9296 番代
FAX (052) 532-1664 番



業務用食器一式・製造卸・治工具金型設計製作
大垣プラスチック工業株式会社

代表取締役社長 日比 勝次

本社 岐阜県大垣市大島町2丁目394番地
TEL <0584> 81-1347(代)
営業所 名古屋市西区城西3-15-33
TEL <052> 932-3945(代)

サノスリー 株式会社 **川瀬樹脂工業**
エンジニアリング
プラスチック成型加工

企画開発部

取締役 川瀬 忠雄

本社工場 岐阜県大垣市曾根町1丁目686番地 ☎503
TEL(0584)27-2566 FAX(0584)27-5956
金型工場 岐阜県安八郡神戸町前田133番地-1
TEL(0584)27-7744 FAX(0584)27-8393

岐阜産研工業(株)

代表取締役 林 貢一郎

樹脂事業部 射出成型
ギフト事業部 ギフト商品卸販売

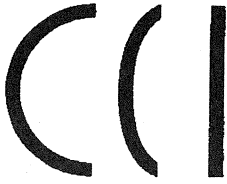
本社・工場
〒501-05 岐阜県揖斐郡大野町
大字公郷六ノ坪 1403 番地
TEL (0585) 35-2511
FAX (0585) 35-2327

 **三光合成株式会社**

滋賀工場

工場次長 三輪 嘉人

本社 富山県砺波郡福光町遊部800
TEL 0763-52-2135
岐阜県安八郡安八町森部2454-1 〒503-01
TEL 0584-64-3388
FAX 0584-64-4936



技術と工夫で
価値あるものを…

シーシーアイ株式会社

代表取締役社長 岡部 修二
岐阜県羽島郡岐南町八剣7-148
電話 (058) 247-3101

岐阜プラスチック協同組合

代表理事 清水 昭市

岐阜県各務原市前渡東町4丁目222番地
TEL 0583-86-9356
FAX 0583-86-9350

バス・航空機・車輛・船舶用各種座席、航空機部品
強化プラスチック、太陽温水器



天龍工業株式会社

代表取締役社長 福西 紀雄

本社 岐阜県各務原市蘇原興亜町4丁目1番地
TEL <0583>82-4111(代)

各種プラスチックシート真空成型加工



パール化成株式会社 PEARL CHEMICAL PRODUCTS CO.,LTD.

代表取締役 杉山 元彦

本社工場 〒501-04 岐阜県本巣郡真正町温井 243-3
TEL (0583) 24-9155(代) FAX (0583) 24-6221
管理本部 〒500 岐阜市八坂町 40 番地 の 1
岐阜工場 TEL (058) 271-0861(代) FAX (058) 275-0970



株式会社 フクシマ化学

姉妹会社

株式会社 ワ コ ー

代表取締役 福島 文夫

(株)フクシマ化学 〒505 岐阜県美濃加茂市加茂野町今泉749
TEL0574-26-1138 FAX0574-26-1139
(株)ワ コ ー 〒501-32 岐阜県関市南天神2丁目1番26号
TEL0575-24-7038 FAX0575-24-7058



ムト-精工株式会社

代表取締役 山口 功

本社工場 〒509-01 岐阜県各務原市鶴沼川崎町1-60-1
TEL(0583)71-1100(代) FAX(0583)82-4365
岐阜工場 〒509-01 岐阜県各務原市鶴沼川崎町1-93
TEL(0583)83-8311(代) FAX(0583)83-1516
筑波工場 〒300-03 茨城県稲敷郡阿見町大字香澄の里13-2
TEL(0298)89-0800(代) FAX(0298)89-0805

岐阜技研ポリマー 株式会社

代表取締役 篠田 哲

岐阜市岩地 3-7-15
TEL <058> 246-2541
FAX <058> 246-2081



株式会社 武藤化成工業所

代表取締役 武藤 幸平

岐阜県武儀郡武芸川町跡部井口781 〒501-26
TEL <0575> 46-3711 FAX <0575> 46-2285

出光の石油化学製品

ポリスチレン

スチレン系耐熱樹脂

ポリカーボネート

GF PET

ポリプロピレン

高密度ポリエチレン

直鎖状低密度ポリエチレン

カルプ®



出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-9361(代)
名古屋支店 名古屋市中区栄2丁目1番1号 日土地名古屋ビル5F 〒460 ☎052-204-6051~3

ShinEtsu 信越PVC

生活用品からエレクトロニクス材料まで——信越PVC

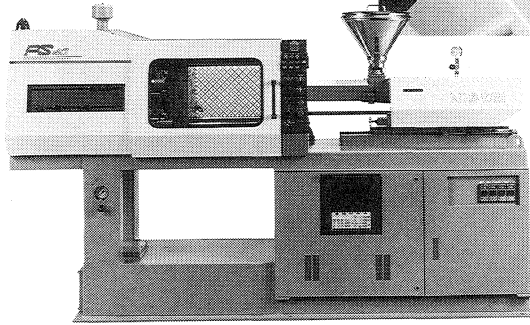
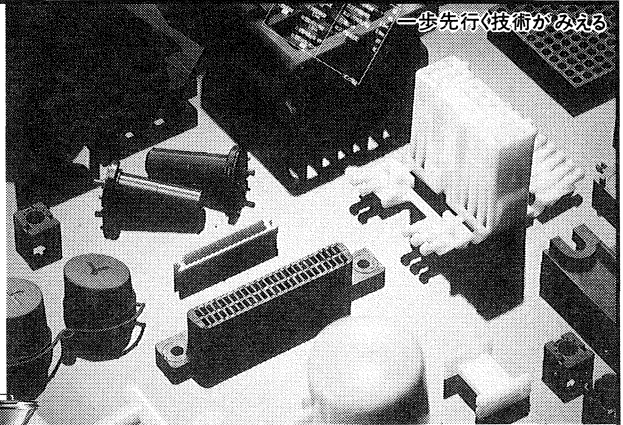
P.V.C.

信越化学工業株式会社 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館)
☎(052)581-0651

一步先行く技術がみえる

精密成形を究めると PSシリーズになる。

最新の電子コントローラを搭載し、射出性能と操作性を向上させ、FA対応においても一層の高性能化を図りました。新感覚の生産工場を実現する価値ある射出成形機、それがNISSEIのPSシリーズです。



NISSEI

日精樹脂工業株式会社

名古屋営業所 / 愛知県小牧市外堀2-167 ☎0568-75-9555代

岡崎出張所 / 愛知県岡崎市上六名4-1-8三剛ビル1F ☎0564-52-1430

三重出張所 / 三重県津市神戸横田203-4 ☎0592-24-0716

●本社・工場・技術研究所 / 長野県坂城町南条2110 ☎(0268)82-3000(大代表)

●東京事務所 ●テクニカルセンター / 本社・相模原・岩槻・名古屋・大阪

●営業所 / 全国11ヶ所 ●出張所 / 全国20ヶ所 ●海外サービスステーション / 28ヶ所

ハイテクノロジーに挑戦

MEIKI

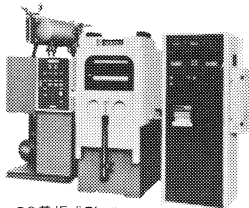
プラスチック、光ディスク、ファインセラミック射出成形機、IC基板成形プレス等、先端技術加工機を生産して、世界の名機として活躍しています。



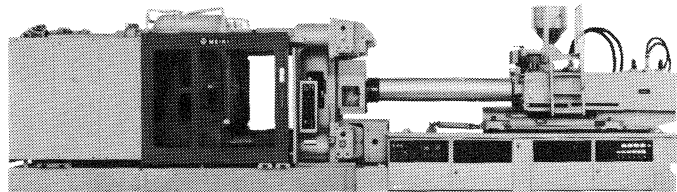
ディスク専用機



セラミック専用機



IC基板成形プレス



プラスチック射出成形機



株式会社

名機製作所

本社・工場

〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎0562>48-2111代

時代の進歩に多くを学んでいます。

次は…

JSR 合成樹脂ワイドセクション

JSR ABS

イッパンヨウ
コウキノウ

タイコウセイジュシ

JSR AES

チヨウタイネツジュシ

JSR XT

ジコシヨウカセイジュシ

JSR NC

ジコシヨウカセイジュシ

JSR NF

PVCキョウカヨウジュシ

JSR MBS

フクゴウガタネツジュシ

JSR EXCELLOY

ドウデンセイジュシ

JSR CONDUCTOR

JSR AS

コウキノウガタASジュシ

JSR RB

フタジエンジュシ

JSR TR

ネツカソセイエラストマー

JSR SIS

ネツカソセイエラストマー

NYLON 46

NYLON 6. PET-G

コウキノウポリマーアロイ

MAXLOY

DYNA FLEX

LINK FLEX

エラストマーケイフクゴウザイ

日本合成ゴム株式会社

JSR

東京都中央区築地2-11-24

☎(03)5565-6537

大阪支店 ☎(06) 203-0041

名古屋支店 ☎(052)571-1231

広島支店 ☎(082)221-7252



活きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト[®]

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット[®]

ABS樹脂

ダイヤペット[®] **ABS**

三菱レイヨン

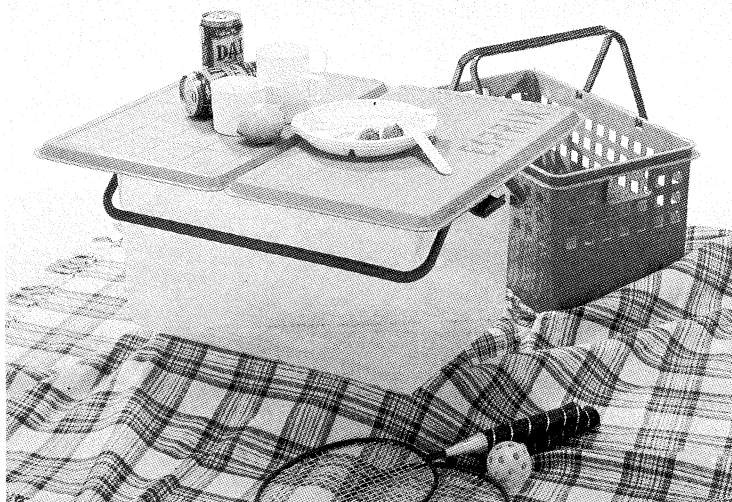
東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711

ESPRIX EARTH SPIRIT

エスプリックス

行きはボックスとバスケットにいっぱい詰めて出発。ランチタイムにフタを開けばテーブルに早変わり。帰りは、バスケットをボックスに入れコンパクトに収納できる便利なレジャーボックスです。(フタの内側は、収納スペースになります。)

ボックスがテーブルに早変わり



ダブルボックス

 **リス株式会社**

岐阜プラスチック工業株式会社

- 本社: 岐阜市神田町9丁目25番地(大岐阜ビル6階)
- 生産本部: 各務原市前渡東町4丁目222番地

岐阜プラスチックグループ

- リス興業(株)
- 東北リス(株)
- 四国リス(株)
- リスパック(株)
- 東京リス(株)
- 九州リス(株)
- リス(株)
- 大阪リス(株)
- リスエンジニアリング(株)